

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第 155 回 4 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グランデール溝の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 白井 由美子

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第 155 回 第 4 部

2021 年 8 月 29 日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

【議題】

お茶の水セルクリニック

定期報告「自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた関節痛、変形性関節症治療」

「自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた靭帯・腱損傷治療」

「多血小板血漿 (Platelet-rich plasma:PRP) を用いた変形性関節症治療」

第1 審議対象及び審議出席者

1 日時場所

日 時：2021 年 8 月 24 日（火曜日）第 4 部 20：40～20：45

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

2 出席者

出席者：佐藤委員（再生医療）、高橋委員（臨床医）、平田委員（臨床医）、
藤村委員（細胞培養加工）、菅原委員（生命倫理）、山下委員（生物統計）、
中村委員（一般）

※佐藤委員、高橋委員は Zoom にて参加

申請者：管理者 寺尾 友宏

陪席者：(事務局) 坂口 雄治、木下 祐子

3 技術専門員 吉村 誠 先生(評価書)

総合高津中央病院 副院長 整形外科医

4 配付資料

資料受領日時 2021 年 7 月 28 日

(本審査資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告（様式第三）
- ・定期報告フォーム

・年間 教育・研修記録文書
(事前配布資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告（様式第三）
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

(会議資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告（様式第三）
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・技術専門員による評価書

第2 審議進行の確認

1 開催基準の充足

再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件は次のとおり。

成立要件：

- 1 5名以上の委員が出席していること。
- 2 男性及び女性の委員がそれぞれ2名以上出席していること。
- 3 次に掲げる者がそれぞれ1名以上出席していること。
 - イ. 再生医療等について、十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
 - ロ. 細胞培養加工に関する識見を有する者
 - ハ. 医療又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家、または生命倫理に関する識見を有する者
- 4 出席者の中に、審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有する者を含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること。
- 5 認定再生医療等委員会の設置者と利害関係を有しない委員が2名以上含まれていること。

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、全てにおいて条件を満たしていることを各委員に宣言した。

第3 審議

1. 審議

「自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた関節痛、変形性関節症治療」

山下 | 痛みに関しては、十分に有意な差がありました。肩関節と足の関節については症例が少ないので、なんとも判断できません。股関節、膝関節については

十分に有意な結果が出ています

「自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた靭帯・腱損傷治療」

山下 | 11例しかありませんが、非常によくなっており、十分に効果があると考えて
いいと思います

「多血小板血漿 (Platelet-rich plasma:PRP) を用いた変形性関節症治療」

山下 | 36例46件で、肩関節も膝関節も、1回目の検査では有意な結果ではありません
が、最終的には有意な結果になっています。股関節を含めた痛みの自己評価
については有意ではありません

菅原委員長が全委員へ今回の定期報告は適切でよいか確認し、全委員が合意した。

2. 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

第4 審議結果

定期報告は適切である。

以上